

日本地質学会第118年学術大会・日本鉱物科学会2011年年会合同学術大会（水戸大会）講演プログラム（ポスター）

■9月11日（日） コアタイム13：00-14：30 大学会館（茨苑会館 Shien-Hall）

T6. 火成作用と流体

T6-P01

オーストラリア南東部Dromedary火成岩体のMount Dromedary
ブルトンの閃長岩とモンゾニ岩に含まれる放射性鉱物の記載岩石
学的研究。 佐藤 桂・Ellis David・Christy Andrew, G.

T12. 地球史イベント大事件6：
地球環境変動の鍵を地層から読み取る！

T12-P-1

美濃帯の上部三畳系遠洋性堆積岩中に記録された天体衝突の証
拠。 佐藤峰南・尾上哲治・中村智樹・野口高明・初川雄一・大
澤崇人・小泉光生・藤 暢輔・海老原 充

T12-P-2

トリアス-ジュラ紀の深海堆積物の付加するメカニズムの解明と
海洋プレートの歴史-岐阜県犬山地域木曽川沿いの例-。 藤崎
渉・武田光隆・山本伸次・宮原ひろ子・片岡龍峰・斉藤拓也・中
根布美子・力石祐介・小笠博貴・丸山茂徳

T13. ジルコンとマルチクロノロジー

T13-P-1

飛騨山脈の花崗岩質岩のジルコンを用いたLA-ICP-MSによるU-
Pb年代測定。 伊藤久敏・田村明弘・森下知晃・荒井章司

T13-P-2

紀伊半島の瀬戸内珪長質火山岩のジルコンU-Pb年代。 新正裕
尚・折橋裕二・岩野英樹・檀原 徹

T13-P-3

跡津川断層真川露頭のシュートタキライトの産状とフィッショ
ントラック年代。 筒井宏輔・高木秀雄・新井宏嘉・岩野英樹・檀
原 徹

T13-P-4

ジルコンスタンダード候補試料のマルチ年代データ比較。 岩野
英樹・折橋裕二・小笠原正継

T19. 関東平野の更新統とテクトニクス

T19-P-1

東京都世田谷区で掘削されたボーリングコアCRE-NUCHS-1の堆
積層と堆積物性。 船引彩子・名古屋啓太・金木厚憲・植村杏
太・栗原美貴・小原晴香・後藤 翠・千葉 崇・納谷友規・植木
岳雪・竹村貴人

T19-P-2

大宮台地北部の大宮層におけるテフラ層序と堆積環境。 納谷友
規・水野清秀・古澤明

T19-P-3

東京都三鷹市、井の頭公園地下における前期更新世テフロクロノ
ロジー。 青木 拓・鈴木毅彦・村田昌則・川島眞一・川合将文

T19-P-4

下部更新統犬伏層群小浜層中に挟在するテフラに基づく周辺地域
の火山活動の推定。 村田昌則・鈴木毅彦

R3. 高压科学・地球深部

R3-P01

FeTiO₃の高压高温相転移とFeTi₃O₇相の構造。 浜根大輔・

Zhang Meiguang・八木健彦・Yanming Ma

R3-P02

カンラン石-斜方輝石間の水の分配におけるFe・Alの効果。 櫻
井 萌・辻野典秀・高橋栄一・河村雄行

R3-P03

黒雲母固溶体-熱水溶液間のNi-Co分配。 古川 登

R3-P04

高压X線マイクロCTを用いた吸収密度測定。 中塚明日美・浦川
啓・寺崎英紀・舟越賢一・上杉健太郎

R3-P05

含水石英ガラスの構造：X線回折実験の結果。 浦川 啓・神崎
正美・小原真司・舟越賢一・三部賢治

R4. 地球表層・環境・生命

R4-P01

ベトナムドンタップ省タイ島の堆積物・地下水解析から示唆され
るメコン川流域のヒ素汚染メカニズム。 和澄利美・赤井純治

R4-P02

自然金表面のバクテリア形態構造物のFIB-TEM観察。 赤井純
治・市橋弥生・小暮敏博

R4-P03

Superstructure in sulfur-containing calcite in a travertine
carbonate rock。 Hye-jin Kim・Jinwook Kim・Toshihiro
Kogure

R4-P04

新生代化石コクリスの結晶方位解析。 猿渡和子・萩野恭子・長
澤寛道・小暮敏博

R4-P05

NanoからMicroスケールでのサンゴ骨格の微細組織観察。 甕
聡子・永井隆哉・岨 康輝・渡邊 剛

R4-P06

初期地球環境下での玄武岩質岩の風化変質について。 藤高志
帆・小林祥一・猶原 順

R7. 岩石・鉱物・鉱床学一般

R7-P-1

花崗岩冷却のP/T条件と鉱化作用の関係（1）-遠野・栗橋・蟹
岳岩体について-。 高橋俊仁・中島和夫

R7-P-2

花崗岩冷却のP/T条件と鉱化作用の関係（2）-南部北上地域の
いくつかの岩体について-。 高橋宏文・中島和夫

R7-P-3

島根県松江市和久羅山アイサイトの岩石・鉱物学的研究。 佐藤
大介・松本一郎

R7-P-4

蛇紋岩マイロナイト中の鉄に富んだアンチゴライト。 曾田祐
介・森下知晃

R7-P-5

夜久野オフィオライトのジルコンのSHRIMP U-Pb年代とREE組
成。 木村光佑・早坂康隆・隅田祥光

R7-P-6

新鉱物「千葉石」の地質環境。 高橋直樹・伊左治鎮司・門馬綱

一

R7-P-7

北海道、白亜紀-第三紀花崗岩類に伴う電気石の地球化学的特
徴。 福地伸章・木村太郎・松枝大治

R7-P-8

スイフト社製メカニカルステージを再利用したモード測定システ
ム。 棟上俊二

R9. 変成岩とテクトニクス

R9-P-1

始生代インド南部ダールワール岩体の変成作用プロセス。 外田
智千・Satish-Kumar M・Nasheeth Abdulla・上野雄一郎・山崎
里英・奥平敬元・白石和行

R9-P-2

南インドの先カンブリア代の縫合帯の花崗岩類とチャーノックイ
トのジルコンU-Pb年代：プレートテクトニクス周期に関連した
火成活動の履歴。 佐藤 桂・M.Santosh・平田岳史

R9-P-3

ゴンドワナ造山帯に産出する高压グラニュライトの温度圧力経
路：南インドおよび東南極の例。 齋藤陽介・角替敏昭

R9-P-4

北中国地塊・内モンゴル縫合帯に産出する超高温変成岩の温度圧
力履歴。 清水恒子・角替敏昭・Santosh M.

R9-P-5

オマーンオフィオライト北部フィズ岩体のメタモルフィックソ
ールにおける接触変成作用。 森 菜美子・高澤栄一

R9-P-6

西アルプスLago di Cignana地域の変堆積岩中の白雲母K-Ar年代。
中野豪士・郷津知太郎・八木公史

R9-P-7

北海道日高変成帯南部、キブチ川地域における変成岩類・深成岩
類の地質-特に逆転構造と転倒褶曲について-。 西谷真也・豊
島剛志

R9-P-8

出雲大東地域のSpl + Qtz + And共生を持つ変成岩の成因。 郷田
翔一・志村俊昭・石原舜三

R9-P-9

跡倉ナップからみた本州中央部のテクトニクス。 小野 晃

R9-P-10

黒瀬川帯に産する青色片岩の原岩形成場と西南日本の形成テクト
ニクス。 吉本 紋・小山内康人・中野伸彦・足立達朗・米村和
紘・石塚英男

R9-P-11

九州八代地方黒瀬川帯小田尾ユニットの変成分帯。 上村謙一
郎・平島崇男・藤本善航

R9-P-12

四国中央部・三波川帯の大規模褶曲。 森 宏・ウォリス サイモ
ン

R9-P-13

三波川帯東赤石超マフィック岩体の上昇時に形成されたアンティ
ゴライト剪断構造。 横山寛紀・水上知行・荒井章司

※R1～R5, T1～T8は日本鉱物科学会扱いのセッション。R6～R25, T9～T20は日本地質学会扱いのセッションです。講演番号は双方の学会の付け方に準じています。

※プログラムと講演要旨とで発表題目や共著者名が異なっている場合、講演要旨を正しいものとします。

※日本鉱物科学会扱いのポスターセッションのうち、講演番号が抜けている講演は、「日本鉱物科学会ポスター発表賞」へのエントリー講演です（9/9「金」のエントリー講演を参照のこと）。

日本地質学会第118年学術大会・日本鉱物科学会2011年年会合同学術大会（水戸大会）講演プログラム（ポスター）

■9月11日（日） コアタイム13：00-14：30 大会会館（茨苑会館 Shien-Hall）

R9-P-14

沈み込み帯前弧ウェッジマントルにおけるAntigorite CPOパターン－三波川変成帯 東赤石岩体の例、 西井 彩・ウォリス サイモン・水上知行・道林克禎

R9-P-15

西南日本外帯の地磁気ダイポール異常を示す蛇紋岩の組織と岩石磁気特性、 山口はるか・平内健一・木戸ゆかり

R9-P-16

確率論的温度圧力経路推定法の開発、 桑谷 立・永田賢二・岡田真人・鳥海光弘

R14. 炭酸塩岩の起源と地球環境

R14-P-1

北中国山東省の中部カンブリア系微生物炭酸塩岩の特性、 小谷 綾香・江崎洋一・足立奈津子・劉 建波

R14-P-2

南中国のオルドビス紀前期礁システム―骨格生物礁の初期進化の解明、 足立奈津子・劉 建波・江崎洋一

R14-P-3

南部中国揚子炭酸塩プラットフォーム、宗地セクションの石炭系 Bashkirian－Moscovian境界、 上野勝美・浜地桂史・早川直樹・星木勇作・篠原三樹雄・中澤 務・王 玥・王 向東

R14-P-4

中国南東部におけるペルム紀末の生物大量絶滅直後の微生物岩の組織変化と海洋環境の変動、 浅田雄哉・江崎洋一・劉 建波・足立奈津子

R14-P-5

Key speciesを用いたサンゴ礁生態系の復元、 本郷宙軌・茅根 創

R16. 石油・石炭地質学と有機地球化学

R16-P-1

熱拡散モデルによる和泉山脈地域の上部白亜系和泉層群の被熱史の復元、 清家一馬・岩野英樹・檀原 徹・平野弘道

R17. 岩石・鉱物の破壊と変形

R17-P-1

岩石の熱伝導率測定における間隙水圧の影響、 多田井 修・林 為人・廣瀬丈洋・谷川 亘・向吉秀樹

R17-P-2

超微小硬度計を用いた変成岩中の力学的不均一性の測定、 大森 康智・増田俊明

R17-P-3

脆性－塑性遷移条件下における石英の割れと細粒化、 福田惇一

R17-P-4

新潟県北部の日本国マイロナイト帯におけるマイロナイト化作用、 佐藤由紀・豊島剛志

R17-P-5

福島県川内村鍋倉川流域の花崗岩類とマイロナイト化作用、 福地里菜・大友幸子

R17-P-6

愛媛県中央構造線湯谷口露頭のシュードタキライトを伴う断層岩

類の産状と剪断センス、 相馬麻衣・高木秀雄

R18. 付加体

R18-P-1

足尾帯ジュラ紀付加体におけるユニット境界断層の性状と付加過程における役割、 鎌田祥仁・鈴木孝明

R18-P-2

流体包有物を用いたジュラ紀付加体の温度・圧力条件：玖珂層群を例にして、 小林雅義・鎌田祥仁

R20. 古生物

R20-P-1

埼玉県横瀬地域の秩父帯北帯から得られたジュラ紀放散虫化石、 松岡喜久次

R20-P-2

モンゴル南東部、ゴビ砂漠における湖成堆積物中のジュラ系下部白亜系カイエビの古生物学的研究、 村田崇行・Li Gang・安藤寿男・長谷川 精・長谷川 卓・太田 亨・山本正伸・長谷部徳子・Ichinnorov Niiden

R20-P-3

下部白亜系手取層群北谷層のスポン上科カメ類とその意義、 蘭田哲平・東 洋一・平山 廉・安藤寿男

R20-P-4

静岡県中新統女神石灰岩からTurbo (Marmarostoma) histrio Reeve の産出とその古生物地理学的意義、 富田 進・門田真人・井上恵介

R20-P-5

ニュージーランド沖カンタベリー堆積盆におけるIODP Exp. 317で掘削された陸棚コア中の貝形虫化石と古環境変遷、 石田 桂・楠 慧子・大井剛志・河潟俊吾・統合国際海洋掘削計画第317次航海乗船研究者

R20-P-6

過去60万年間にわたる古カトマンズ湖の浮遊性・底生珪藻群集の生産性・種多様性の比較研究、 林 辰弥・谷村好洋・藤井理恵・酒井治孝

R20-P-7

2010年に北海道石狩湾沿岸で見られた暖流系貝類、 鈴木明彦

R24. 地学教育・地学史

R24-P-1

学校の石材が語る地域地質および地域産業 ～北海道地方の例～、 大木淳一

R24-P-2

アメリカの博物館における地学普及教育の事例と活用、 安曾潤子

R24-P-3

2011年新燃岳噴火と博物館実験授業の効果、 笠間友博

R25. 第四紀地質

R25-P-1

群馬県北部、丸沼湖底堆積物にみられる洪水イベント、 行木勝彦

R25-P-2

長野県下野尻湖における音波探査記録反射面から推定した湖水面変動史、 中村祐貴・井上卓彦・近藤洋一・井内美郎

R25-P-3

静岡県伊東市のボーリングコア中の完新世貝形虫群集とその意義、 入月俊明・大林 巖・藤原 治・平川一臣・長谷川四郎・内田淳一・阿部恒平

R25-P-4

濃尾平野臨海部鍋田における沖積層下部のテフラ分析、 牧野内猛・檀原 徹・堀 和明・野々垣 徹

R25-P-5

河内平野南部の完新統花粉層序、 渡辺正巳

R25-P-6

琵琶湖湖底堆積物の高分解能生物源シリカ濃度プロファイルに示される過去約4.6万年間の気温変動周期性、 井内美郎・根上裕成・喜岡 新・公文富士夫

R25-P-7

琵琶湖高島沖ボーリングコア中の生物源シリカ含有率から推定される過去約15万年間の古気候変遷、 根上裕成・中西俊貴・喜岡新・中村祐貴・岩本直哉・井内美郎

R25-P-8

有孔虫群集からみた宍道湖の環境変動（再検討）、 野村律夫・河野重範・辻本 彰

R25-P-9

年縞堆積物に挟まれる崩壊および洪水起源の重力流堆積物の堆積過程：岡山県更新統湖成蒜山原層の例、 佐々木泰典・弓 真由子・瀧井喜和子・齋藤めぐみ・成瀬 元・石原与四郎

R25-P-10

岡山県児島湾奥部のメイオベントス（貝形虫・有孔虫）群集と内湾環境、 河野重範・辻本 彰・野村律夫・福田賢一・入月俊明

R25-P-11

コンパクトAMSを使用した放射性炭素測定について ～山形大学 高感度加速器質量分析センターの場合～、 加藤和浩・門叶冬樹・庵下 稔・和泉彰紘

※R1～R5，T1～T8は日本鉱物科学会扱いのセッション、R6～R25，T9～T20は日本地質学会扱いのセッションです。講演番号は双方の学会の付け方に準じています。

※プログラムと講演要旨とで発表題目や共著者名が異なっている場合、講演要旨を正しいものとします。

※日本鉱物科学会扱いのポスターセッションのうち、講演番号が抜けている講演は、「日本鉱物科学会ポスター発表賞」へのエントリー講演です（9/9〔金〕のエントリー講演を参照のこと）。